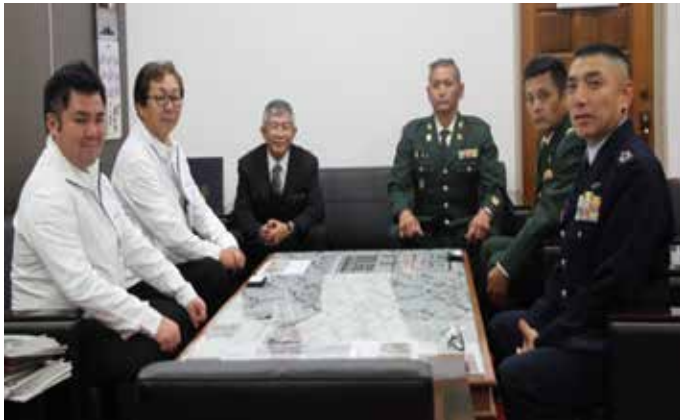




自衛隊埼玉地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCES SAITAMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

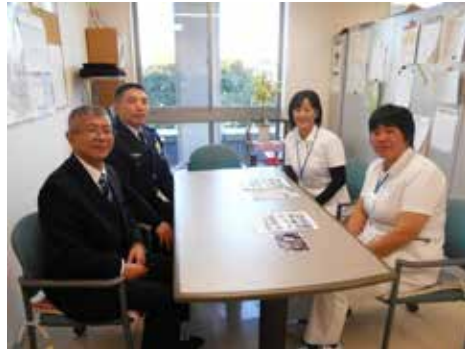
即応予備自衛官雇用企業を訪問



埼玉地方協力本部（本部長 山野正志一等空佐）は、先の台風十九号の被害対応への災害招集に応じた即応予備自衛官の雇用企業を訪問し、災害招集への協力に對し謝意を表した。

十二月四日（水）、本部長は十月二十二日から十一月四日まで災害派遣に従事した第四十八普通科連隊の萩原知子二曹が看護士として勤務する「埼玉成恵会病院」を訪問、災害派遣従事中の萩原二曹の写真とともに、活動内容を上司である看護部長に紹介するなど、これまで以上の予備自衛官等制度への協力を依頼した。また、これに先立つ十一月二十二日（金）には、十月十八日から同月二十八日まで災害派遣に従事した第一〇三補給大隊の畠山大起士長が勤務先の「ケアサポート彩玉」代表とともに地本本部を訪れ、本部長の他、所属する第一補給中隊長、同中隊長先任上級曹長も同席した中で、災害派遣中の被災者への思いや苦勞話を話してくれた。

両名とも今後も招集があれば、いつでも応じることができるよう訓練に励み、即応予備自衛官としての錬度の維持と、健康管理に留意していくと心強く抱負を語ってくれ、埼玉地本としても、これに応えるべく、引き続き予備自衛官等本人及びその雇用企業の理解と協力を得られるよう連携を強化していく。



十文字学園女子大学で講義



自衛隊埼玉地方協力本部長（山野一等空佐）は、令和2年1月20日十文字学園女子大学（埼玉県新座市）において1年生及び2年生を主とする約60名に對し、講義を実施した。

本講義は「埼玉の地理・歴史・文化」という十文字学園女子大学人間生活学部児童教育学科星野敦子教授の授業の一環であり、毎年依頼を受け実施している。

本部長は、自衛隊の概要や女性自衛官の活躍推進について、分かりやすく映像や自身の体験談を交えながら紹介した。学生は、熱心にメモを取りながら聴講し、国防の重要性や自衛隊の任務・役割について理解を深めた。

学生の声として、「日本を守ると言っ自衛隊の仕事にとても感動した」「私も誰かを助けられる様な人になりたい」「女性でもやりがいのある仕事がある事が分かった」などの声が聞かれた。

埼玉地方協力本部朝霞地域事務所は、引き続き大学での講義の機会を捉えて、「自衛隊に對する理解と関心を深め、自衛官募集に繋げていく」としている。